



第三回 埋伏歯保存治療のストラテジー

— 含歯性嚢胞を糸口として —

近年、下顎第二大臼歯と第三大臼歯の**重積状埋伏症例**が散見される。文献的には、下顎第二・第三大臼歯を抜去する治療が報告されている。矯正歯科学的視点では、下顎第二大臼歯あるいは第三大臼歯を抜去し、残りの大臼歯を保存する治療が報告されている。

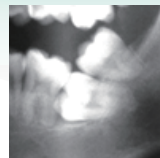
しかし、重積状埋伏の発生機序は未だ不明であり、特に、なぜ下顎第二大臼歯が水平埋伏するかが不明である。少なくとも下顎第二大臼歯が、単なる**萌出空隙不足**で近心傾斜したとは考え難い。原因が不明なら治療は対症療法とならざるを得なく、予防も叶わない。

この点を踏まえて、正常萌出中の下顎第二大臼歯が、近心傾斜する当院の症例を観察した(図:中段)。すると、歯嚢の拡大に伴い近心傾斜することを認めたため、水平埋伏の原因は**萌出性嚢胞**と考察された。萌出性嚢胞は歯槽粘膜に発生し自壊するため、見過ごされる可能性が高いが、ある種の**含歯性嚢胞**である。

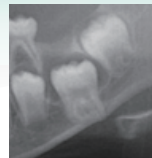
典型的な含歯性嚢胞のX線所見は、歯冠を含む類円形の境界明瞭な単房性透過像である。逆に、歯冠と嚢胞壁の間隔が3mm以上の場合、含歯性嚢胞を疑う。しかし、正常の歯嚢像を呈する埋伏歯も存在し、また、萌出性嚢胞のように自壊することもあり、含歯性嚢胞の**エチオロジー**(原因)は明らかではない。そこで今回、含歯性嚢胞のエチオロジーを考察した。

加えて、**萌出方向異常**による埋伏歯の治療法と**移転歯の歯肉裂開**の原因も考察する。埋伏という現象の原因を考察することで、歯科の世界がより高度に発展することを望んで止まみせん。

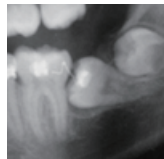
供覧症例 (抜粋)



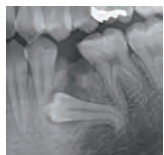
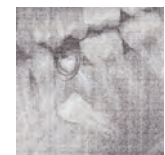
重積状埋伏症例



含歯性嚢胞



下顎第二大臼歯の**萌出性嚢胞** (左から11歳、12歳、13歳時)



5の**萌出方向異常** (左から10歳、14歳、16歳時)

参考図書



『埋伏歯の保存治療—誘導・牽引のタイミングとテクニック』
著者：野田隆夫・野田雅代
定価：8,000円(税抜)
ご注文は(株)松風まで。
03-3832-1824



『抜歯しない埋伏歯の矯正歯科治療』
著者：野田隆夫・野田雅代
(クインテッセンス出版)

講演内容

- 萌出性嚢胞・含歯性嚢胞・濾胞性歯嚢胞とは何か
- 下顎第三大臼歯のアップライトと下顎管
- 根尖屈曲埋伏歯は矯正治療可能か
- 上顎逆性埋伏歯の原因と矯正治療法、および歯根弯曲のメカニズム
- 導管と歯牙腫・含歯性嚢胞
- 上顎犬歯による前歯歯根吸収の対応法
- 下顎小臼歯の萌出方向異常の原因
- 移転歯の歯肉裂開の発生機序

講師



野田 隆夫 先生

のだ たかお

東京医科歯科大学卒業
歯学博士
野田矯正歯科クリニック院長

日程

2024年3月28日(木)
10:00~16:00

定員

40名

会場

ふれあいふるさと館
〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6
東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口から徒歩1分
JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口から徒歩6分

受講料

松風歯科クラブ
デンティストサークル会員 : 19,800円
一般 : 22,000円
(昼食費、消費税込)

お申込み・お問い合わせ

株式会社松風 矯正課 NLT矯正セミナー係
〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-2
TEL:03-3832-1824

お申込みは「SHOFU seminar サイト」から

松風セミナー

検索



<https://seminar.shofu.co.jp/>

申込〆切 開催日の7日前まで